

# 中小企業景況調査報告書

2024年7～9月期実績  
2024年10～12月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。  
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

## 1. 調査要領

- (1) 調査対象時期等
  - ①調査対象時期：2024年7～9月期の実績及び2024年10～12月期見通し
  - ②調査期間：2024年8月19日～9月2日 ※調査時点は2024年9月1日
- (2) 調査方法
  - ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
  - ②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。
- (3) 調査対象商工会
  - ①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、鹿追町、本別町、弟子屈町
  - ②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町
  - ③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

### (4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	48	45	93.8%	小売業	87	85	97.7%
建設業	51	51	100.0%	サービス業	114	109	95.6%
				合計	300	290	96.7%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

- (5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？  
前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。  
例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は $50-20=+30$ となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

## 2. 全業種の業況（前年同期比、前期比の推移） ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比					
	今期	来期見込	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	今期	来期見込
製造業	▲ 20.0	▲ 13.3	10.0	6.0	▲ 11.8	▲ 21.3	▲ 4.4	▲ 22.2
建設業	▲ 15.7	▲ 21.6	0.0	▲ 8.9	▲ 10.6	▲ 16.0	▲ 3.9	▲ 17.7
小売業	▲ 36.2	▲ 35.0	▲ 31.4	▲ 25.3	▲ 23.2	▲ 34.2	▲ 26.5	▲ 34.9
サービス業	▲ 20.4	▲ 16.6	▲ 12.7	▲ 13.6	▲ 31.5	▲ 32.7	▲ 11.1	▲ 19.4

### 3. 北海道内商工会地域の状況

#### 製造業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	今期	来期見込
業況	好 転	6.7	6.7	9.8	6.4	8.7	8.9	2.2
	不 変	66.6	73.3	68.6	65.9	69.6	77.8	73.4
	悪 化	26.7	20.0	21.6	27.7	21.7	13.3	24.4
	D・I	▲ 20.0	▲ 13.3	▲ 11.8	▲ 21.3	▲ 13.0	▲ 4.4	▲ 22.2
売上(加工)額	増 加	17.8	8.9	23.5	12.8	32.6	28.9	
	不 変	53.3	66.7	43.2	40.4	37.0	51.1	
	減 少	28.9	24.4	33.3	46.8	30.4	20.0	
	D・I	▲ 11.1	▲ 15.5	▲ 9.8	▲ 34.0	2.2	8.9	
資金繰り	好 転	0.0	0.0	2.0	4.3	4.5	2.3	
	不 変	86.4	84.1	84.3	80.5	81.9	84.1	
	悪 化	13.6	15.9	13.7	15.2	13.6	13.6	
	D・I	▲ 13.6	▲ 15.9	▲ 11.7	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 11.3	
原材料仕入単価	上 昇	71.1	62.2					
	不 変	28.9	37.8					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	71.1	62.2					
採算(経常利益)	好 転	6.7	6.7					
	不 変	57.7	62.2					
	悪 化	35.6	31.1					
	D・I	▲ 28.9	▲ 24.4					

#### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

##### 【今期実施内容】

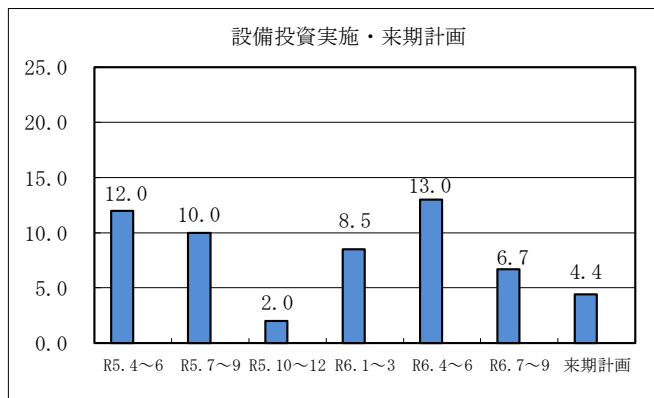
回答45事業所の内、3事業所(6.7%)が実施。

●生産設備=2事業所、●工場建物=1事業所

##### 【来期計画内容】

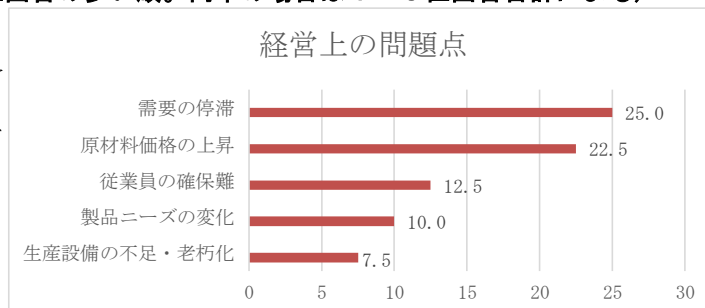
回答45事業所の内、来期に2事業所(4.4%)が計画。

●生産設備、車両・運搬具=各1事業所



#### ○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様1位だった「需要の停滞」で前回より1.7ポイント増加している。2位は前回4位だった「原材料価格の上昇」で6.2ポイント増加している。3位は前回5位だった「従業員の確保難」で4ポイント減少している。4位は前回2位だった「製品ニーズの変化」で6.3ポイント減少している。5位は前回3位だった「生産設備の不足・老朽化」で6.5ポイント減少している。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	今期	来期見込
業況	好 転	5.9	0.0	6.4	4.5	4.1	13.7	3.9
	不 変	72.5	78.4	76.6	75.0	77.5	68.7	74.5
	悪 化	21.6	21.6	17.0	20.5	18.4	17.6	21.6
	D・I	▲ 15.7	▲ 21.6	▲ 10.6	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 3.9	▲ 17.7
完成工事 （請負工 事）額	増 加	13.7	5.9	25.5	15.9	22.4	33.3	
	不 変	51.0	70.6	44.7	45.5	42.9	54.9	
	減 少	35.3	23.5	29.8	38.6	34.7	11.8	
	D・I	▲ 21.6	▲ 17.6	▲ 4.3	▲ 22.7	▲ 12.3	21.5	
資金繰り	好 転	6.0	0.0	6.5	9.1	8.3	8.0	
	不 変	74.0	86.0	84.8	77.3	81.3	84.0	
	悪 化	20.0	14.0	8.7	13.6	10.4	8.0	
	D・I	▲ 14.0	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 4.5	▲ 2.1	0.0	
材 料 仕入単価	上 昇	70.0	52.0					
	不 変	30.0	46.0					
	低 下	0.0	2.0					
	D・I	70.0	50.0					
採算（経 常利益）	好 転	3.9	2.0					
	不 変	68.6	70.5					
	悪 化	27.5	27.5					
	D・I	▲ 23.6	▲ 25.5					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

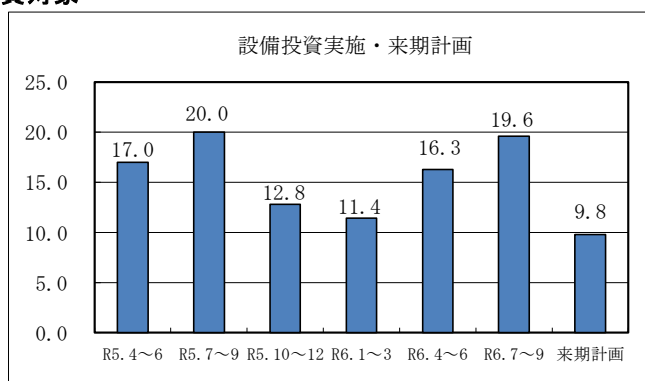
回答51事業所の内、10事業所（19.6%）が実施。

●車両・運搬具=4事業所、●建設機械=3事業所、●土地=2事業所、●建物、OA機器、福利厚生施設=各1事業所

【来期計画内容】

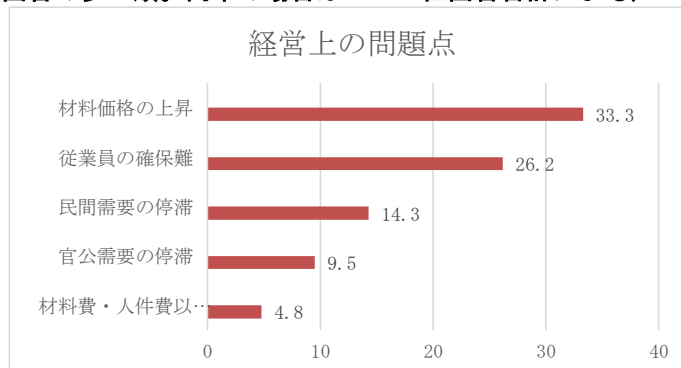
回答51事業所の内、来期は5事業所（9.8%）が計画。

●建設機械=3事業所、●建物、車両・運搬具=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「材料価格の上昇」で3.3ポイント減少した。  
2位は前回同様の「従業員の確保難」で0.6ポイント減少した。  
3位は前回同様の「民間需要の停滞」で2.8ポイント減少した。  
4位は前回5位だった「官公需要の停滞」で4.6ポイント増加した。  
5位は前回4位だった「材料費・人件費以外の経費の増加」で0.1ポイント減少した。



## 小 売 業

### 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5. 10-12	R6. 1-3	R6. 4-6	今期	来期見込
業況	好 転	7.2	4.8	8.5	7.6	7.3	6.0	2.4
	不 変	49.4	55.4	59.8	50.6	61.0	61.5	60.3
	悪 化	43.4	39.8	31.7	41.8	31.7	32.5	37.3
	D・I	▲ 36.2	▲ 35.0	▲ 23.2	▲ 34.2	▲ 24.4	▲ 26.5	▲ 34.9
売上額	増 加	15.3	5.9	26.8	8.8	21.7	25.9	
	不 変	49.4	57.6	41.5	44.9	49.4	43.5	
	減 少	35.3	36.5	31.7	46.3	28.9	30.6	
	D・I	▲ 20.0	▲ 30.6	▲ 4.9	▲ 37.5	▲ 7.2	▲ 4.7	
資金繰り	好 転	4.8	3.6	2.5	3.8	7.4	7.2	
	不 変	66.3	69.9	74.7	69.3	67.9	73.5	
	悪 化	28.9	26.5	22.8	26.9	24.7	19.3	
	D・I	▲ 24.1	▲ 22.9	▲ 20.3	▲ 23.1	▲ 17.3	▲ 12.1	
商品仕入単価	上 昇	62.4	49.4					
	不 変	34.1	48.2					
	低 下	3.5	2.4					
	D・I	58.9	47.0					
採算(経常利益)	好 転	9.5	6.0					
	不 変	47.6	54.7					
	悪 化	42.9	39.3					
	D・I	▲ 33.4	▲ 33.3					

#### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

##### 【今期実施内容】

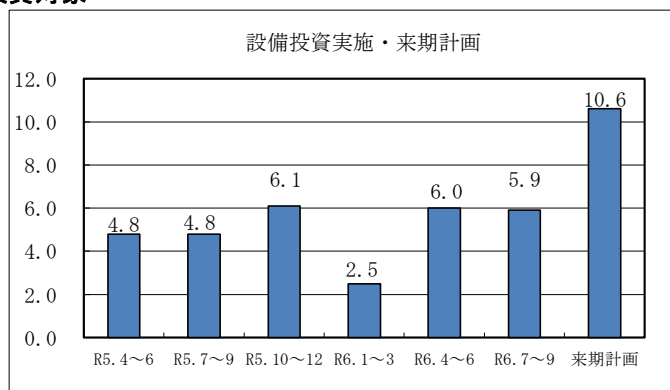
回答85事業所の内5事業所(5.9%)が実施。

●販売設備、車両・運搬具=各2事業所、●店舗=1事業所

##### 【来期計画内容】

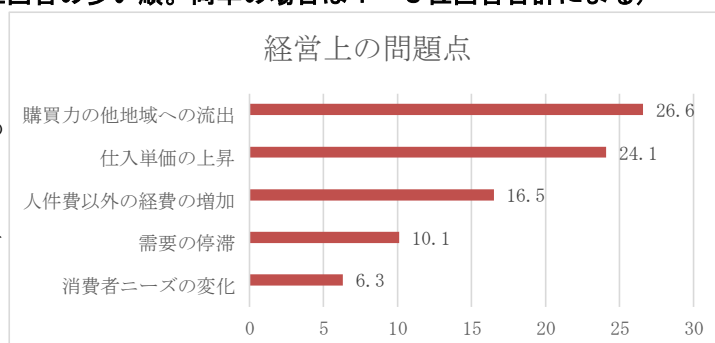
回答85事業所の内、来期は9事業所(10.6%)が計画。

●販売設備=5事業所、●店舗、OA機器=各2事業所、●車両・運搬具、付帯施設=各1事業所



#### ○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「購買力の他地域への流出」で2.6ポイント増加した。2位は前回同様「仕入単価の上昇」で4.1ポイント増加した。3位は前回5位だった「人件費以外の経費の増加」で3.2ポイント増加した。4位は前回3位だった「需要の停滞」で1.9ポイント減少した。5位は前回4位だった「消費者ニーズの変化」で4.4ポイント減少した。



## サービス業

### 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5. 10-12	R6. 1-3	R6. 4-6	今期	来期見込
業況	好 転	7.4	6.5	0.9	3.8	5.9	13.0	5.6
	不 変	64.8	70.4	66.7	59.7	65.7	62.9	69.4
	悪 化	27.8	23.1	32.4	36.5	28.4	24.1	25.0
	D・I	▲ 20.4	▲ 16.6	▲ 31.5	▲ 32.7	▲ 22.5	▲ 11.1	▲ 19.4
売上(収入)額	増 加	19.3	11.9	12.6	8.7	24.0	30.3	
	不 変	48.6	59.7	50.5	51.9	52.0	43.1	
	減 少	32.1	28.4	36.9	39.4	24.0	26.6	
	D・I	▲ 12.8	▲ 16.5	▲ 24.3	▲ 30.7	0.0	3.7	
資金繰り	好 転	0.9	2.8	1.8	1.0	5.8	5.6	
	不 変	74.8	72.9	76.2	71.5	75.8	72.9	
	悪 化	24.3	24.3	22.0	27.5	18.4	21.5	
	D・I	▲ 23.4	▲ 21.5	▲ 20.2	▲ 26.5	▲ 12.6	▲ 15.9	
仕入単価(材料等)	上 昇	60.7	50.5					
	不 変	38.4	47.6					
	低 下	0.9	1.9					
	D・I	59.8	48.6					
採算(経常利益)	好 転	6.4	5.5					
	不 変	60.6	67.9					
	悪 化	33.0	26.6					
	D・I	▲ 26.6	▲ 21.1					

### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

#### 【今期実施内容】

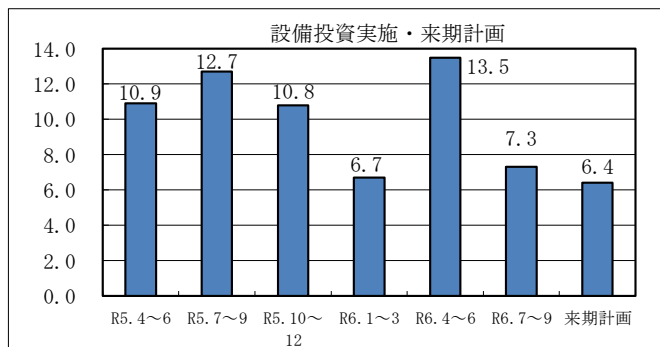
回答109事業所の内、8事業所(7.3%)が実施。

●建物、サービス、車両・運搬具=各3事業所、●付帯施設、その他=各1事業所

#### 【来期計画内容】

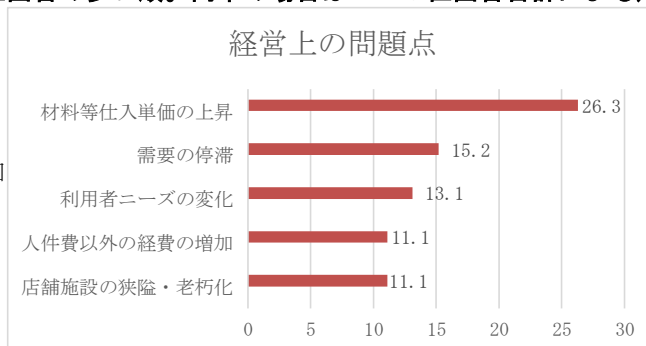
回答109事業所の内、7事業所(6.4%)が計画。

●付帯施設=3事業所、●その他=2事業所、●建物、サービス、OA機器=各1事業所



### ○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「材料等仕入単価の上昇」で1.8ポイント増加した。2位は前回同様「需要の停滞」で1.8ポイント減少した。3位は前回4位だった「利用者ニーズの変化」で3.9ポイント減少した。4位は前回2位だった「人件費以外の経費の増加」と前回5位だった「店舗施設の狭隘・老朽化」が同ポイントで並んだ。「人件費以外の経費の増加」が3.8ポイント減少し、「店舗施設の狭隘・老朽化」が1.5ポイントの増加した。



#### 4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

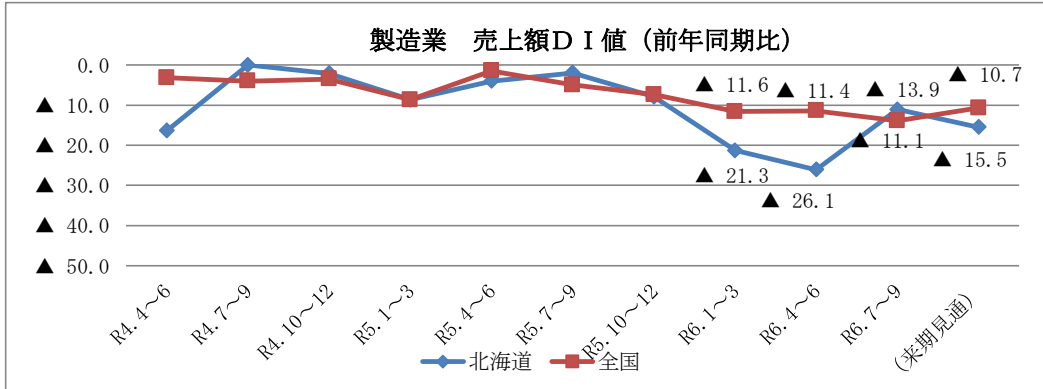
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

##### 製造業

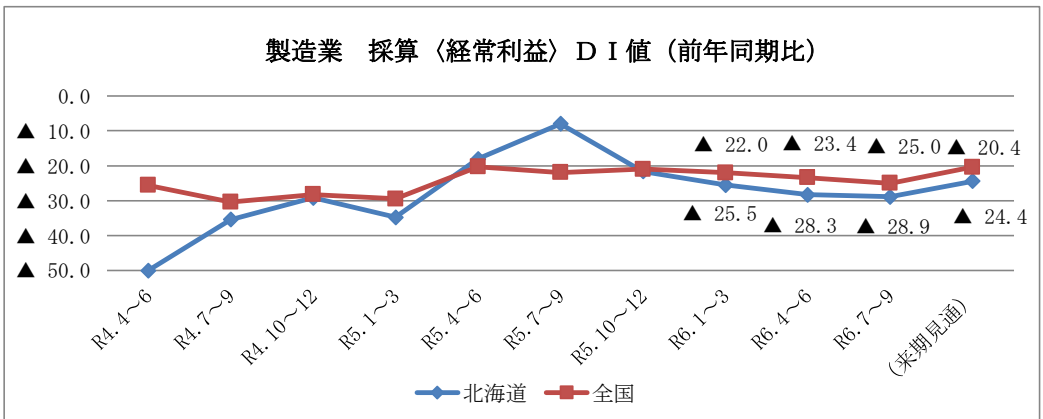
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇  
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇  
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

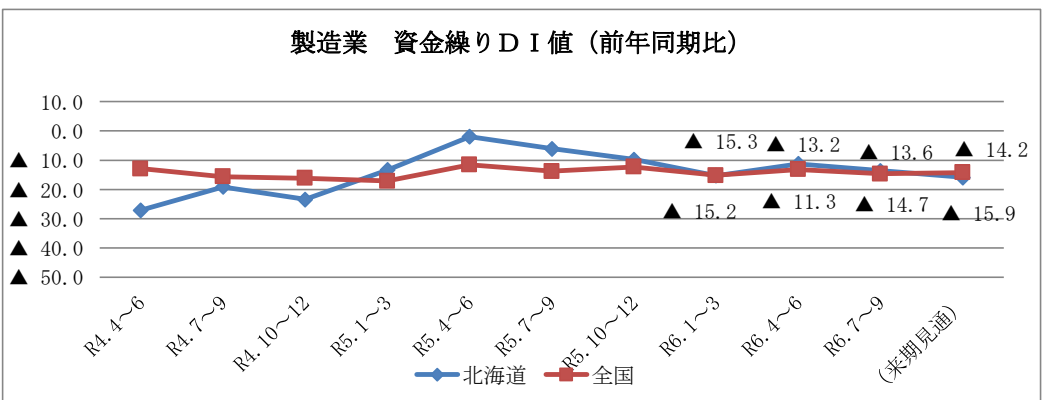
##### 売上額



##### 採算



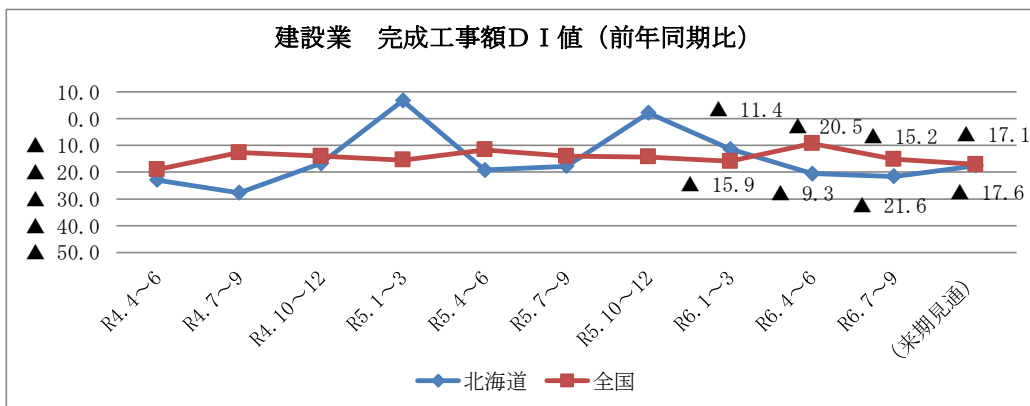
##### 資金繰り



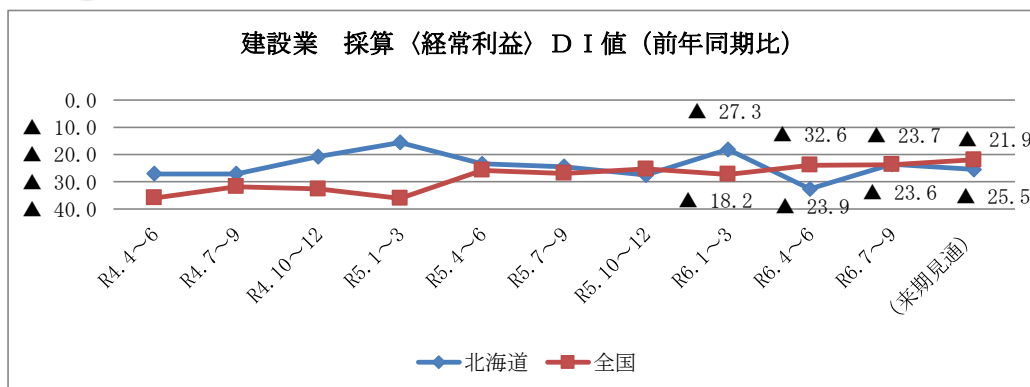
**建設業**

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇  
 【全国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇  
 (見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

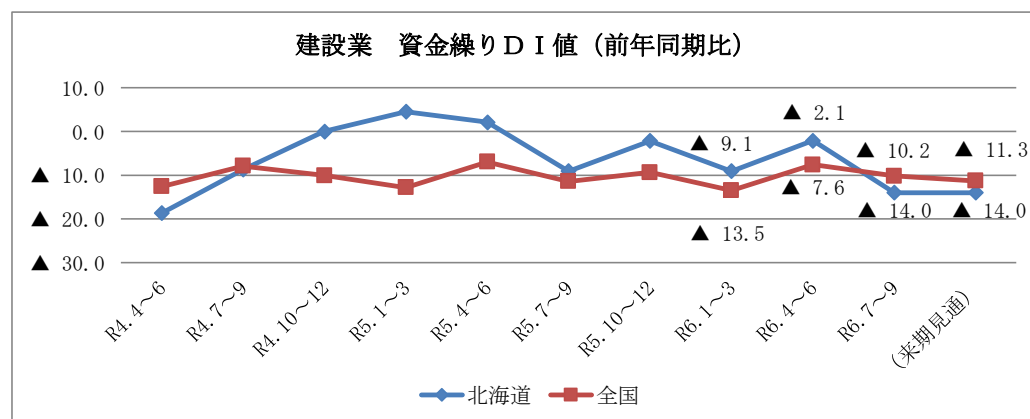
完成工事額



採算



資金繰り



**小売業**

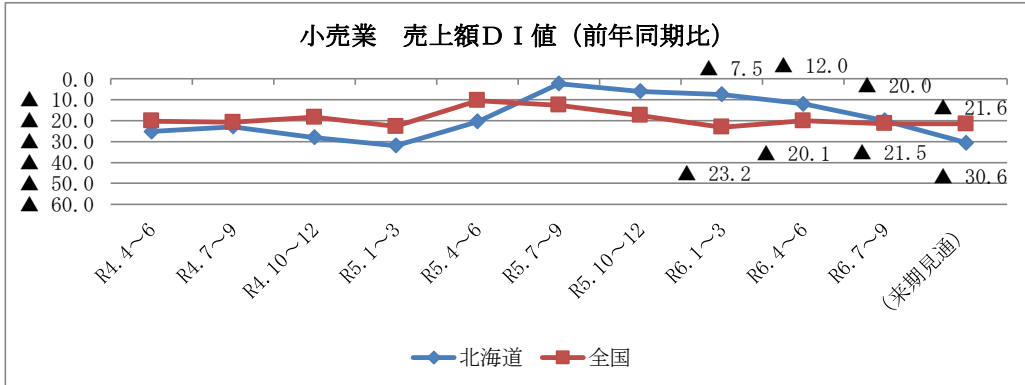
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

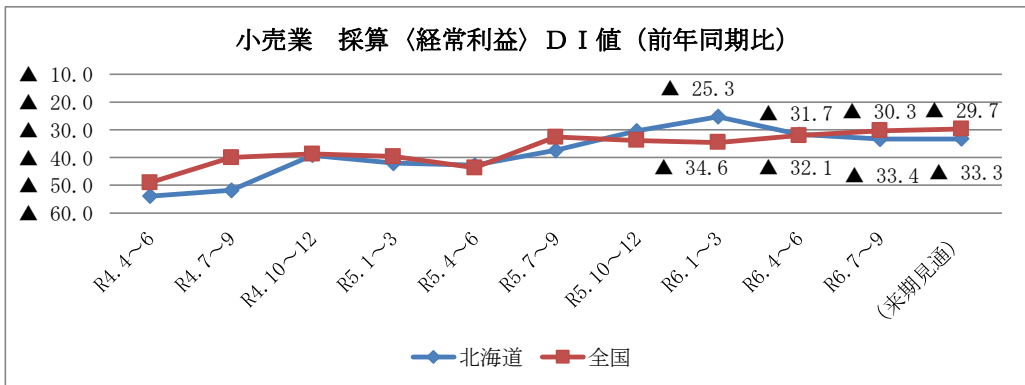
【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

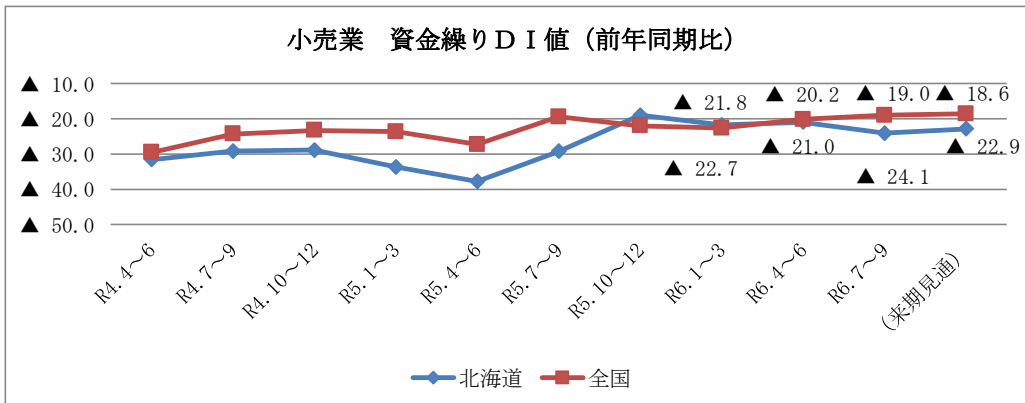
売上額



採算



資金繰り

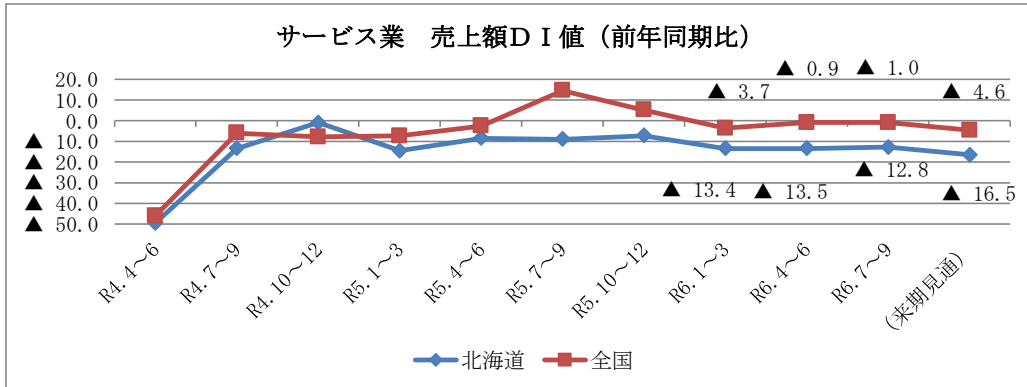




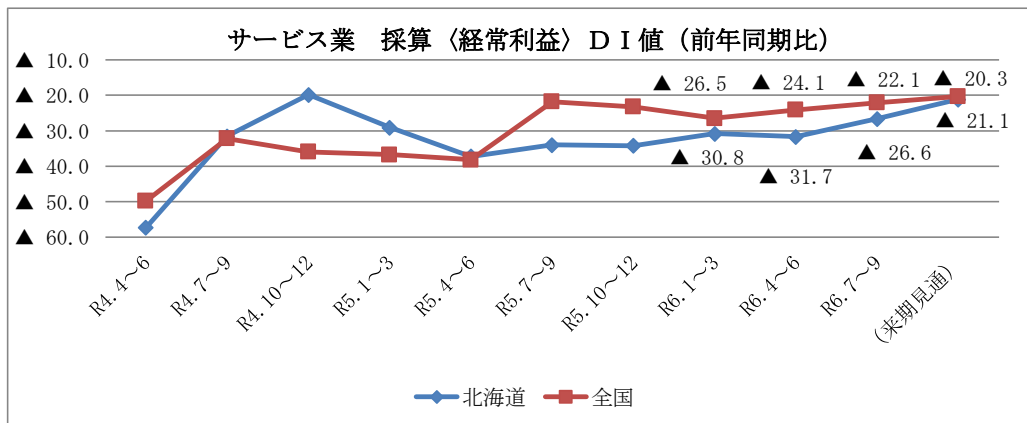
### サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇  
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇  
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇  
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

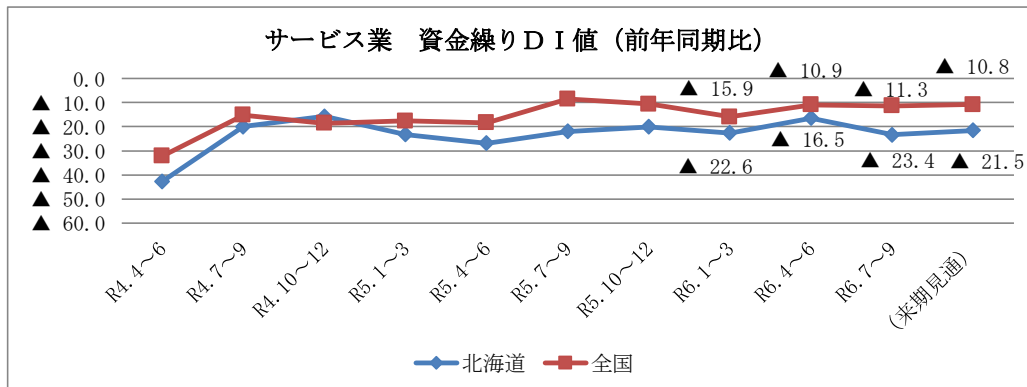
#### 売上額



#### 採算



#### 資金繰り



## 5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>○一人前になるまでの期間が長い為、月の売上上昇はなかなか厳しいが、今期はイベントをやったり出店させていただいたりして新しい顧客との出会いが多くありました。今後も同じ動きを取り入れたいと思います。</p> <p>○7月の客単価が低くなった。8月に入ってから前年同期の客単価に戻ったが、未だ財布の紐は固そうである。</p> <p>○原材料価格の上昇が続き、価格転嫁ができずに厳しい状況である</p> <p>○今期が始まって数ヶ月が経ちましたが売上は例年通りで順調なスタートをきる事ができました。下半期も大きな工事を数件抱えているため現場の安全第一に可能な限り納期厳守で行っていきたいと考えます。</p> <p>○円安の影響により、仕入れ価格が昨年より2割値上がりし、価格に転嫁したいところだが、コロナ後の値上がりにより毎年のように価格が上がっているため、転嫁しにくい状況。為替130円台が望ましい。</p> <p>○良くない。</p> <p>○いまだに原材料の高騰が続いている。昨今の経済情勢等から、業種的に上向きは期待できない中、試行錯誤しながら維持に努めている。</p> <p>○慢性的な人手不足である</p>
建設業	<p>○建設業界は見通しが立たないほど不況に見舞われています。</p> <p>○見積り依頼は多いものの成約に結び付かないで終わっている。競争も激化してきており、粗利益率が低下してでも仕事を確保したいという心理が働いている。</p> <p>○民需の低下が目立つ中、未消化の事業案件の着手見込みにより、年度末までは完工高が前期よりも増加する見込みです。しかしながら、材料単価の上昇、請負単価の低下等の問題は避けられず採算面では改善を要します。</p> <p>○業況としては、前月と同じで燃料等の上昇が懸念される。</p> <p>○原材料価格の高騰や、インボイス制度導入により税負担が増え、請負単価の見直しを行っているが、今後の資金繰りに苦慮している。</p> <p>○今期は去年の猛暑により、空調関係の仕事の発注が多く出たが、道内各地で発注されるため、材料不足に加えて下請け業者の確保が非常に困難な状態となっている。2024年問題と重なって、大きな営業を与えている。</p>

<p style="text-align: center;"><b>小売業</b></p>	<p>○人口の減少、お客さんの高齢化のため、1日の客数は数人しかいません。電気代を払うのも大変です。</p> <p>○道内各地の取引先も好調。観光地として北海道の人気の高さを感じる。7月に入り来店客が増えインバウンドも好調。円安の影響もあり高額商品も売れている。国内外のお客様問わずローカルプロダクトは人気がある。</p> <p>○毎月の様に仕入単価が上昇している。</p> <p>○本年2月に大型店が開店したことにより、売上が減少している。</p> <p>○物価高騰によりお客様の購買力が低下、コロナ関係で余暇の過ごし方に変化があってアウトドア関連の商品購入が増加しているので業況はなかなか苦戦している。</p> <p>○冷蔵機器とエアコンを新設した。設備投資により事業継続の不安はやや解消されたものの、この先の売上が上昇していくという保証はない。経費を抑える努力が実らなければ設備投資をした意味がない。</p> <p>○人口の減少とともに店舗内商品構成を変えてきました。今年は特に大型店の閉店が続き、今後どこで買い物をすれば良いか検討段階だと思えます。新しい世代への店づくりを仕入業者との連携で魅力を維持し継続したいです</p> <p>○chaifソフトクリームラリー、JAF会員優待施設、トカプチCycle Tourism Japanへの参加等他社との連携してお客さんを増やす努力が少しずつ実り始めるのを期待しています。</p> <p>○コロナ以後の観光業への影響により売上は回復すると思われたが予想通りとはいかず苦戦している。顧客のニーズ判断が難しく、今後の新商品の開発についても難しさを感じている。</p>
<p style="text-align: center;"><b>サービス業</b></p>	<p>○うちは安いからお客は来るが、仕入経費が高いから生活は苦しい。値上げすれば客は減りなお苦しくなると思う。早く物価高が終わってほしい。</p> <p>○昔は閑散期が7～9月でしたが、今は普通に忙しいです。</p> <p>○ニセコで宿泊施設を営んでいる。冬期のヒラフエリアで営業のキッチンカー●千円のおおるような報道の影響が不明だが、イメージダウンで客離れが起きている。開発の仕事関係の滞在宿泊施設は不足している。</p> <p>○コロナ騒動が一段落し、インバウンドが回復した。背景には円安、海外のインフレで割安な日本ということもあった。逆に国内は賃上げが物価高に追い付かず、インバウンドのイメージで割高感のあるニセコは避けられた。</p> <p>○利用客のパーマやカラーの考え方が変わり始めていて、カットのみが増えているので客単価が減りました。カラーもセルフカラーなので以前より減ってます。</p> <p>○原材料の高騰、インボイス制度導入による税負担の増加</p> <p>○6月から新聞代値上げにより売上、粗利が増加した。ただ購読者の高齢化により需要は落ちている。</p> <p>○設備投資をして施設の改善を図りたいが、継承問題がネックとなり次のステップを踏めない。投資すべきは設備課人員確保か悩みの種である。</p> <p>○夫婦経営で高齢になり、跡継ぎもいないことから、廃業を検討している。</p> <p>○ビジネスホテルの宿泊料の高騰により、ビジネスホテルを利用していたお客様が当社へ流れてきているように感じる。</p> <p>○季節的に売上げが上がっているが冬季にかけてどの程度維持できるか不安である。</p> <p>○設備投資による製品及び販売設備の増加によって大幅な販売網の拡大に成功した結果昨年同期や前期よりも収益が増加した。また、値上がりも容認される雰囲気があり、単価を上げることにも成功しているため。</p> <p>○悪いながらも安定している。これから少しずつ上向きになりそうに思っている。お客様も悪い景気に少しずつ慣れ始めているように思う。これ以上悪い景気にならないければお客様の回転も少しずつ戻ってくると思う。</p> <p>○値上げに客がついてこなくなるラインまできている。年齢によるニーズの違い。</p> <p>○物価高騰の影響は変わらず、原価の見直しも行っているが、利益はあがらない状況である。仕出しの伸びもまいちであり、毎月の資金繰りはなかなか厳しい。来月より新規事業が開始予定のため、今後に期待したい。</p>